

# 発達支援センター通信

◆野洲市発達支援センター TEL587-0033、FAX587-2004

広報「やす」:2024年1月号掲載

## ほめるコツ

ある園に行ったときのことで、職員室の入口で、園長先生が腰をかがめて、子どもたち一人ひとりに声をかけています。「〇〇ちゃん、お当番さんで来てくれたね。ありがとう!」「□□ちゃん、大きな声で教えてくれて助かったわ!」。子どもたちは、園長先生と目を合わせてにっこりしたりハイタッチしたり。笑顔で教室に帰っていきます。

発達支援センターでも、先生方が子どもたちによりそいながら声をかけています。「ここ、きれいにできたね!」「お片付けしてくれてありがとう!」。子どもたちは笑顔を見せ、次の活動にも張り切って参加している様子です。

先生方は、ほめるのが上手だな、さすがだな、と感心してしまいます。そんな先生方に「ほめるコツ」を聞いてみました。

### ほめるコツ①『具体的にほめる』

どういうところがよかったのかも言ってあげる。

### ほめるコツ②『1日1回はほめる』

1日の最後に「今日は、何かほめたかな?」と思い返し、「1回もほめてなかった!」ということであれば、よかったところを探してほめる。1日に1回は意識してほめる。

### ほめるコツ③『俳優になったつもりでほめる』

時には、何でもよいようなことを、ちょっと大げさにほめるのもよい。当たり前のことだと思っても、ほめてもらうと続けることができたりする。

### ほめるコツ④『最後はほめる』

いくつか伝えることがあったとしても、最後はほめて終わることで、ほめる、がしっかりと伝わる。

そんな先生方も、「わが子をほめるのは、難しい!」と言います。自分の子どものことになると、「できないところ悪いところばかりが目についてしまう」、「ほめるところなんて思いつかない!」と言います。それは、私たちと同じようです。自信がなくても、「ほめるコツ」をほんの少し意識できるといいかもしれません。

さて、今回は発達支援センターの先生方の「ほめるコツ」を紹介しました。参考になるところはありますか?人はほめられること、認められることで、自信がついてきます。ぜひ、わが子のこと、家族のことも、ほめていきましょう。